

様式第2号（第10条関係）

会議結果のお知らせ

- 1 開催した会議の名称 令和4年度第2回直川地域振興審議会
- 2 開催日時 令和4年8月24日（水） 午後7時～午後8時30分
- 3 開催場所 直川振興局 2階 大会議室
- 4 出席者
 - (1) 地域振興審議会委員
芦刈紀生、阿部元治、下岡里美、竹島麗、竹中裕子、西田吉充、春山昌信、水久保雄二、
柳井道則 10名中9名出席（大友勝彦欠席）
 - (2) 佐伯市職員
直川振興局地域振興課 局長：廣瀬功、課長補佐：村西栄二、総括主幹：大畑郁 3名出席
- 5 公開、非公開の別 公開
- 6 傍聴人数 0人
- 7 議題及び結果
 - (1) 開会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 直川振興局長あいさつ
 - (4) 協議事項
 - ①第2次佐伯市総合計画（後期基本計画：地域活性化分野）の策定について（諮問事項）
 - ・第2次佐伯市総合計画（後期基本計画）策定に係る施策見直し調書について説明
 - 施策見直し調書について意見交換。審議の結果、妥当であるとのこと。
 - (5) 閉会
- 8 審議の内容
別紙参照
- 9 会議の資料名一覧
 - ・令和4年度第2回直川地域振興審議会次第
 - ・第2次佐伯市総合計画 後期基本計画策定に係る施策見直し調書
 - ・第2次佐伯市総合計画 後期基本計画の考え方
- 10 問い合わせ先
担当課 佐伯市直川振興局 地域振興課 地域振興・市民サービス係
電話番号 0972-58-2111

別紙

8 審議の内容

【出された意見等】

芦刈委員：

○米、麦、ジビエなど直川産物を活用する事業者への支援とは何。

(回答) 何か取り組みをされている方に対しての補助金等を活用した取り組みを支援したい。

○花のある里づくりの推進について

(回答) 毎年、亀の甲なおかわや農村公園に植樹を行っています。

阿部委員：

○集落営農組織の育成とあるが、集落営農組織は法人化されているのではないか。

(回答) 市の農業振興計画等を見ても、こういう形になっていますので、そのように変更しています。

直川管内では認定農業者7件、個人2件、法人5件となっております。

竹島委員：

○オープンから25年以上経過し、老朽化が進んでおり、毎年、大人気の河川プールとウォータースライダーがキャンプ場にはありますが、今回、河川プールはオープン出来たが、ウォータースライダーはポンプの故障で、今季オープンは出来なかったので整備をお願いしたい。

(回答) 整備箇所については常時、観光課に予算要求をしています。

竹中委員：

○タニシを活用して除草を試みたが、圃場の地形等で苦戦しています。面積的には増やして取り組んで行きたい。厳密な有機農業ではなく、佐伯市が進めるオーガニック農業に沿った形で進めています。

西田委員：

○コミュニティ会議と地域審議会委員の関連とはどういう関連なのか。

(回答) 地域コミュニティとは、新しいコミュニティを作っていく地域の事は地域で考えて活動して行く流れの取り組みで、佐伯市が主体となっている。地域振興審議会とは、佐伯市総合計画に基づいた進捗状況や今後の計画内容を審議する会で、少し意味合いが違います。

今回の計画でも、コミュニティ組織の事に関してふれていますが、直川地域としては新たなコミュニティ組織の構築を図りながら、地域の振興を今後やって行きたいと、市としては考えています。

○オーガニックシティとは何か。

(回答) 重点取組として経済、社会、環境と言う視点、さいき7つの創生を盛り込みながら佐伯版SDGsの推進による「さいきオーガニックシティ」の実現ですが、非常に分かりにくいですが、要は持続可能な町づくりと思っていますが、市長はオーガニック佐伯を打ち出していますが、非常に一般の人には分かりにくいと思います。とは言っても、SDGsは世界の主流になっていて、ここ

らへんを考えながら町づくりをしていくのが、今後の自治体の在り方かなと考えております。

春山委員：

○応援隊と機能別団員の違いは、機能別団員になると積載車等の運転もでき、他地区への出動も対応もでき、消防団員に近い位置付けです。戦力として期待している。

○宇目地域では、栗学校等の支援や休耕田を利用して産地化を目指しているが、直川で収益を上げ産地化するのは難しいのではないのか。今年も耕作放棄地が増えている。休耕田を利用して地元にあった物を考案しなければならないのではないのか。

(回答) まるごと直川米を踏まえながら、新たな作物等の推進を図りたいと思います。

水久保委員：

○消防団応援隊も消防団の減少に伴い、機能別消防団員の候補として、約20名近くの人を各支部長を通して募集をしている。

○ハナモモが植栽後の管理が出来ていないのではないのか。

(回答) 年々、予算が削られていて職員で対応しているので追いつかないのが現状です。

柳井委員：

○「有機農業」を追加と書いているが、具体的に有機農業をどう進めていくのか。今まで直川で有機農業をやっていて生産性を含めてバリバリやるような人がいるのか。

(回答) 市としてもオーガニックシティ佐伯を進めています。農事組合法人なおみが昨年度30a、今年度は130a 水稻作付けを実施しています。

○鉱泉センター直川の食堂の整備について

(回答) 今年度、整備をする予定です。

○今年度の事業はどうなるのか。

(回答) 8月11日になおかわ夏祭りを開催したとおり、市としては行動制限等がなければ開催する予定にしています。カブトムシ木登り競争大会については、生育状況の悪化により実施は不可能でした。観光協会の事業についても、従来通りのことは取り組んでいきます。新たな取り組みとして、7月、8月の暑い時期にゴルフ場の利用者が減るということもありまして、ゴルフ場を利用した方については抽選で、なおかわ産品を送る取り組みも行いました。なおかわ実りの秋感謝祭についても、行動制限等がなければ開催する予定にしています。